弓達　秀樹 議員

（一問一答方式）

①市道の維持管理について
②女性活躍推進への取組について
③市内の経済・労働環境について



市道大洲徳森線について

問　市道大洲徳森線は一部区間において路面損傷が進んでおり、また都谷川側のガードレール設置工事も停滞している。いずれも安全対策として必要な工事であると感じているが、考えを伺いたい。

答　当路線の路面補修については、令和５年度に実施した幹線道路の点検で、路線全体において路面の損傷が著しいとの調査結果であったことから、通行の安全性及び利用状況などを鑑み、令和７年度より国の交付金を活用し、路面損傷の著しい箇所から順次実施しています。

全体計画延長約2.8キロメートルのうち、令和７年度は、市道弁天田野々線との交差点から市道田口徳森線の交差点付近までの約640メートルの補修を実施したところであり、今年度は、大洲道路高架下から大洲中央病院までの間において補修を実施することとしています。

また、ガードレールの延伸については、平成25年度から順次整備してきましたが、平成30年７月豪雨からの復興を優先し、令和２年度以降、工事を一時中断していました。令和５年度に再開し、全体延長約1,660メートルのうち、これまでに約770メートルが整備済みとなっています。なお、今年度は、約50メートルの整備を予定しており、残りの約840メートルについても次年度以降、計画的に実施していきます。

ひめボス宣言事業所の取組と普及啓発について

問　市内企業や事業所が積極的にひめボス認証を取得し、働きやすい職場を市内に増やすため、市が普及啓発活動行うべきと考えるがいかがか。

答　本市では、女性が活躍し、誰もが仕事と家庭を両立できる職場環境づくりを進めるため、愛媛県のひめボス宣言事業所認証制度と連動し、市独自の奨励金制度を実施しています。

本制度の認証取得に当たり、社内環境の整備や規定の見直しなど、クリアすべき諸条件も想定されることから、本市では手厚い支援メニューを設けています。具体的には、申請に伴う社会保険労務士等への初期事務経費に対する全額補助をはじめ、認証取得時や女性管理職比率、男性育休取得率などの目標達成の奨励金や、出産した女性の就業継続率や有給休暇取得率などに応じたスーパープレミアム奨励金を支給することで、事業者の負担軽減と取組促進を図っています。

また、より多くの市内企業や事業所に、これらの支援策を活用して認証取得に取り組んでいただくためには、さらなる周知と積極的な普及啓発が重要であると認識しています。これまでも市ホームページやチラシ等を活用した周知に努めてきましたが、今後はこうした広報活動をさらに強化していくとともに、商工会議所や商工会など、経済団体と連携した直接的な働きかけを深めていきます。

外国人労働者数の把握と共生について

問　本市の外国人労働者数について伺いたい。また、外国人労働者の方々が地域で生活していくうえでの学びが必要であり、お互いの文化を知り、理解を深めることが大切であると考えるがいかがか。

答　急速に深刻化する人手不足の中、本市の多様な産業において、外国人材はもはや地域経済を支える不可欠な存在です。

本年８月末現在、市内在住の外国人404人のうち、就労目的の外国人数は330人となっています。この数は、直近の５年間で約2.1倍に増加しており、十数か国からお越しの皆様に、本市の基幹産業を支えてもらっています。

お互いの文化を知り、交流を深められる場づくりとして、９月13日、商工観光課と肱南自治会の共催により、国際交流肱南コミュニティカフェを開催します。当日は、市内で働く外国人の方々をお迎えし、長浜豊年踊りや三味線演奏といった伝統芸能を通じて、市民と直接触れ合っていただき、顔の見える関係、気軽に挨拶し合える温かい雰囲気づくりを形にしていきたいと考えています。